

2015年11月土曜閉所強調月間

アンケート結果特集！！



道建労協加盟単組組合員の皆さまには、いつも弊協議会の活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、恒例となっております6月と11月の土曜閉所運動、今回は2015年11月実施時のアンケートがまとまりましたので、公開させていただきます。

今回11月の土曜閉所運動から後援に国土交通省及び厚生労働省が加わり、より一層業界の意識が高まる契機となりました。引き続き、労使一体の取り組みとして更に連携を深め、運動の活性化を啓蒙していきます。まずはこの業界で働く自分たちが働き方を見直し、改善を図らなければ、業界全体の魅力向上化もありえません。改めて皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今回の土曜閉所運動における建設産労懇共通のスローガンは、

**『 あなたのために 家族のために みんなのために 統一土曜閉所 』**

でした。今まで自分の働き方を見直す時間がなかった方が大勢いらっしゃると思います。改めて自分自身を振り返ってみると色々なものが見えてくることもあります。特に、家族を思う気持ちは誰もが持つ大きな心です。今一度、最前線で実践する私達こそ“思う心をひとつにして” 次の世代のためにも、土曜閉所活動の活性化を推進していかなければなりません。また、そうすることで好循環のスパイラルを発生させ、誰もが幸せを感じる業界へ変革できるという熱い想いがこのスローガンには込められています。こうした「考動」が今後の人材の確保、入職者の増加、女性技術者が活躍できる環境づくりをうみ出し、つまりは産業の魅力化につながるのです。

今回の回収率 **95.0%** (前回6月・92.8%) 前回の回収率より2.2%上昇し、高い回収率を維持する事ができました。皆様のご協力に感謝いたします。

単組別回答	事業所数	組合員数	回収率	総組合員数	地域別回答事業所数		
					地域	事業所数	組合員数
大林道路	100	890	100.0%	890	北海道	70	259
大成ロテック	103	630	90.8%	694	東北	150	589
東京舗装	19	72	85.7%	84	関東	285	2,105
NIPPO	427	1,242	93.8%	1,324	中部	111	564
フジタ道路	68	153	96.8%	158	関西	90	463
前田道路	240	1,733	98.1%	1,766	中国	109	350
三井住建	55	248	79.0%	314	九州	113	370
合 計	1,012	4,968	95.0%	5,230	北陸	44	132
					四国	40	136
					全 国	1,012	4,968

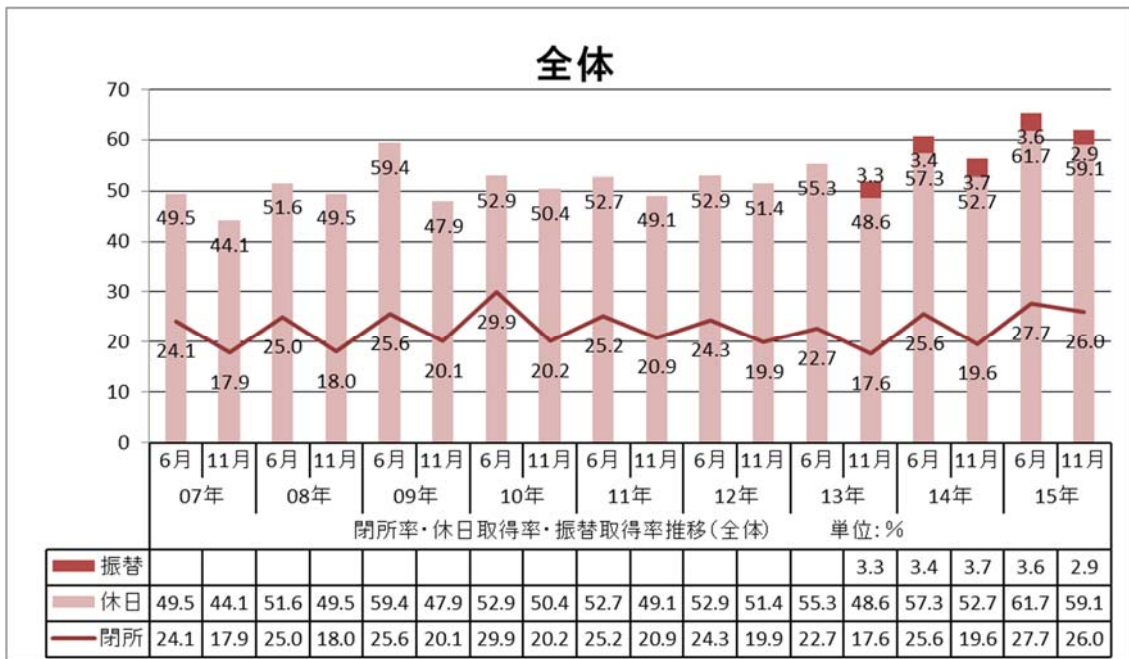
回収率推移(11月)

単位: %

回収率	大林	大成	東舗	NIPPO	フジタ	前田	三住	合計
2009	99.4	85.0	88.0	59.8	85.5	90.9	97.6	81.4
2010	97.6	91.6	85.0	65.1	88.9	84.1	92.3	81.8
2011	94.0	85.7	73.4	88.0	97.0	86.0	96.5	88.5
2012	91.0	80.2	77.6	95.5	93.6	87.7	97.6	89.9
2013	92.8	77.7	82.2	85.4	96.7	94.1	98.0	89.3
2014	90.4	82.0	83.6	90.9	96.9	94.0	94.6	90.9
2015	100.0	90.8	85.7	93.8	96.8	98.1	79.0	95.0

事業所形態	構成比	大林	大成	東舗	NIPPO	フジタ	前田	三住	
営業所・出張所 (営業機能あり)	383	37.8%	49	49	11	136	0	114	24
出張所・作業所 (営業機能なし)	9	0.9%	2	4	0	0	0	0	3
作業所 (単独工事)	146	14.4%	3	4	0	62	58	9	10
合材工場 乳剤工場	311	30.7%	33	37	4	124	0	101	12
本・支店等内勤	154	15.2%	10	9	2	105	10	12	6
その他	9	0.9%	3	0	2	0	0	4	0
合計	1012	100.0%	100	103	19	427	68	240	55

●全体の数値



単組別事業所閉所率(全体)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	事業所数	平均
大林	15.0%	28.0%	11.0%	10.0%	100	16.0%
大成	12.6%	26.2%	12.6%	13.6%	103	16.3%
東舗	10.5%	52.6%	21.1%	21.1%	19	26.3%
NIPPO	27.2%	48.0%	27.9%	27.9%	427	32.7%
フジタ	29.4%	72.1%	38.2%	32.4%	68	43.0%
前田	5.4%	35.4%	5.0%	4.6%	240	12.6%
三住	34.5%	60.0%	40.0%	58.2%	55	48.2%
全社	19.6%	43.2%	20.5%	20.9%	1012	26.0%

地域別事業所閉所率(全体)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	事業所数	平均
北海道	7.1%	41.4%	31.4%	31.4%	70	27.9%
東北	19.3%	51.3%	18.7%	18.0%	150	26.8%
関東	7.0%	45.6%	18.9%	20.4%	285	23.0%
中部	15.3%	22.5%	9.9%	13.5%	111	15.3%
関西	12.2%	25.6%	21.1%	15.6%	90	18.6%
中国	21.1%	67.9%	26.6%	21.1%	109	34.2%
九州	19.5%	39.8%	25.7%	29.2%	113	28.5%
北陸	20.5%	38.6%	22.7%	22.7%	44	26.1%
四国	15.0%	40.0%	10.0%	22.5%	40	21.9%
全国	19.6%	43.2%	20.5%	20.9%	1012	26.0%

単組別休日取得率(全体)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	組合員数	平均	振休加算	振替率
大林	43.0%	61.0%	46.1%	46.4%	890	49.1%	50.5%	2.8%
大成	43.7%	55.2%	47.8%	48.9%	630	48.9%	50.0%	2.2%
東舗	37.5%	76.4%	45.8%	50.0%	72	52.4%	56.9%	9.5%
NIPPO	61.8%	74.5%	62.7%	63.8%	1,242	65.7%	69.0%	9.6%
フジタ	41.8%	85.0%	49.0%	41.8%	153	54.4%	54.6%	0.4%
前田	52.2%	81.2%	55.6%	53.8%	1,733	60.7%	64.6%	10.1%
三住	76.6%	90.7%	75.0%	85.1%	248	81.9%	86.0%	22.8%
全社	52.6%	73.1%	55.3%	55.5%	4,968	59.1%	62.0%	8.2%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した割合

地域別組合員休日取得率(全体)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	組合員数	平均	振休加算
北海道	45.9%	61.4%	52.1%	50.6%	259	52.5%	61.4%
東北	42.6%	75.4%	50.4%	48.6%	589	54.2%	57.4%
関東	57.9%	77.5%	61.0%	60.5%	2,105	64.2%	66.9%
中部	45.2%	60.8%	41.0%	43.3%	564	47.6%	50.4%
関西	52.5%	67.2%	55.7%	56.4%	463	57.9%	60.8%
中国	50.0%	78.9%	59.1%	57.1%	350	61.3%	63.4%
九州	55.7%	69.2%	54.9%	59.2%	370	59.7%	64.3%
北陸	53.8%	67.4%	52.3%	57.6%	132	57.8%	60.0%
四国	52.9%	90.4%	44.1%	48.5%	136	59.0%	61.4%
全国	52.6%	73.1%	55.3%	55.5%	4,968	59.1%	62.0%

結果は、閉所率が 26.0%と前回の 11 月よりも 6.4 ポイント上昇しました。休日取得率については、暦通り休日取得出来た組合員が 59.1%（前年同月比+6.4%）、振替休日を取得できた組合員を含めた休日取得率は 62.0%（2.9%上乘せ、前年同月比+5.6%）となりました。また、土曜日出勤をして振替休日を取得出来た方の率は 8.2%で、前回 11 月のデータより 2.0 ポイント（10.2%）、昨年 6 月からは 3.3 ポイントの下降（前回 6 月・11.5%）を示しました。単組ごとにバラつきがあり、数値自体は前回 6 月よりも若干落ちているものの、11 月単体で見ると、統計を取り始めてから最高値となりました。

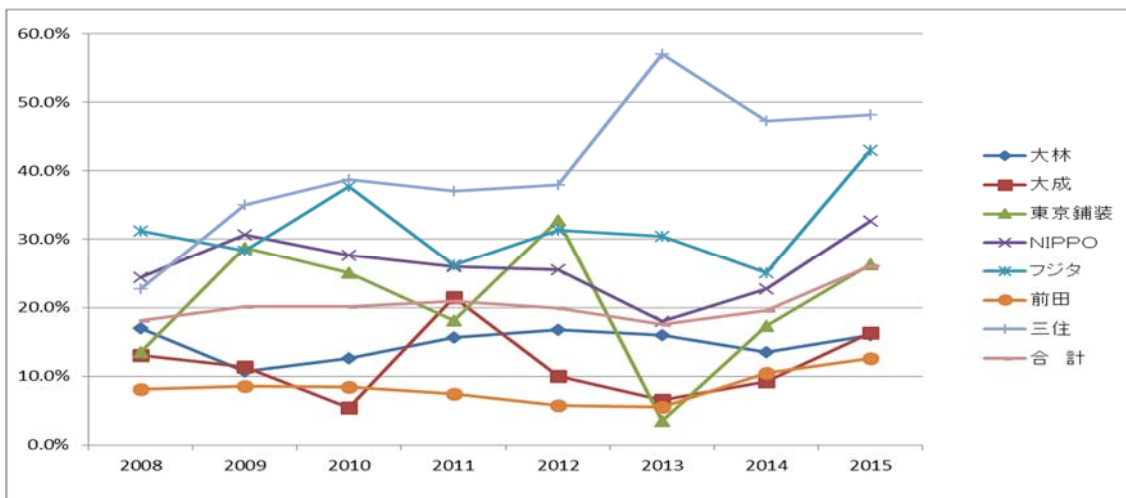
一方、振替休日について、各社を回って事前 PR を行い、若年層の職員までしっかり取り組んでもらうよう要請しているのですが、前もって休めないことがわかっているにもかかわらず振替休日が取得できていない状況はなぜなのか、今一度、組合員の皆さんに考えていただきたいポイントでもあります。所属部内の上下関係・暗黙の了解など様々な要因があるにせよ、振替休日を取る環境にない、という考え方はもはや理由になりません。これだけ何年も何回もこの運動をやってきて、更にここ 1～2 年は会社側も背中を押してくれているなか、年に 1 日 2 日の休日も取れないようでは、努力が足りないと言われても仕方ありません。“振替休日を取得できなくて当たり前”のマイナス思考から“振替休日を取得して当たり前”のプラス思考へ意識を変え、まずは“休むための計画”を立てて現実的に取り組んでみることをお願いいたします。

各単組別の閉所率を見ますと、前回に比べ第 2 土曜日の閉所率が全体で 43.2%（前回 11 月第 2 土曜日・26.2%）と 17%上昇しました。特に、東京舗装工業・NIPPO・フジタ道路の上昇率は高く、全体平均を見ても 3 社による底上げが全体の数字を押し上げたと言っても過言ではないと言えます。そのなかでも、ここ数年変わらず意識を高く持って取り組んでおられる三井住建道路の組合員には頭が下がります。

休日取得で見ると、全体で 59.1%（前回 11 月・52.7%）と 6.4%と上昇しており、閉所率同様 3 社による意識の高さが休日取得にも高い数値で表れています。三井住建道路を除く他単組の組合員はこの数値から、“何ができない理由になっているのか、その為に自分に何ができるのか”を考え、次回の意識改善に繋げていただきたいところです。

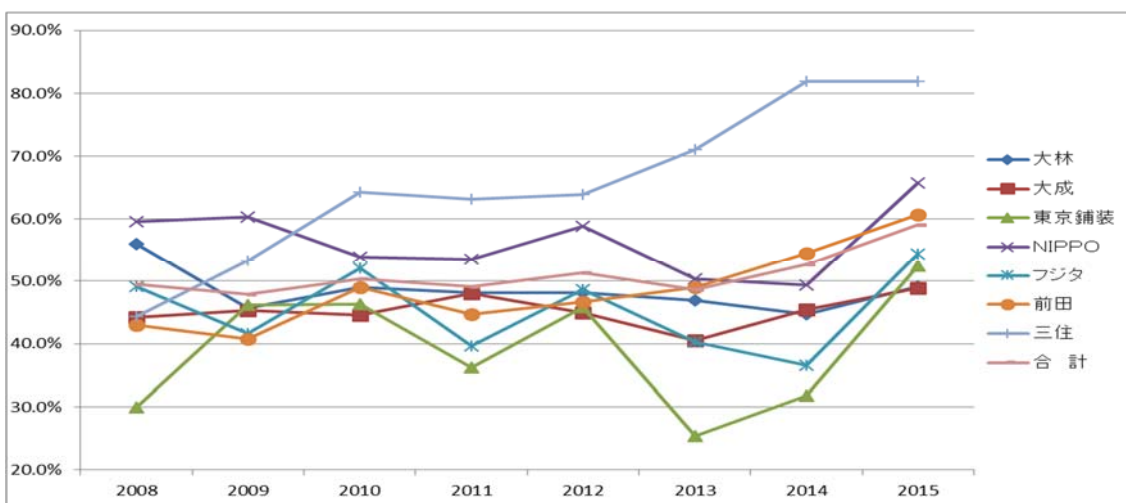
地域別では、関東地区の第 2 土曜日に注目です。南関東 5 都県で実施されたアスファルト合材工場の第 2 土曜日・日曜日の閉所活動が 45.6%（前年同月 20.0%・同月比+25.6%）という高い数値を示しました。これは合材協会の思いが反映した結果と言えます。また、中国地区の合材協会が閉所にむけた継続的な取り組みを続けている結果が 34.2%と言う閉所率にあらわれています。関東地区・中国地区において、他の地区の先駆者となって“熱い思いの詰まった閉所活動”を続けていただきたいところです。道建労協として、協会・企業・組合で連携し、今以上に活性化させ、低迷している関西地区及び中部地区に大きな影響を及ぼす波となるよう引き続き積極的な PR 活動をしていきます。

< 単組別閉所率推移 >

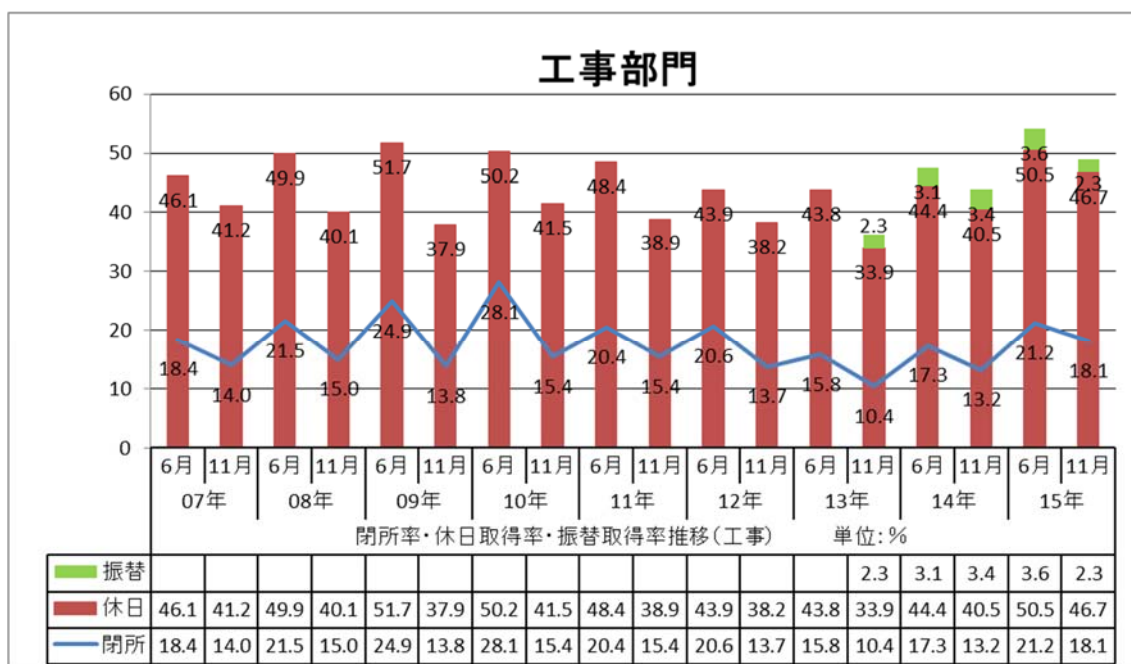


	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
大林	17.0%	10.7%	12.6%	15.7%	16.8%	16.0%	13.5%	16.0%
大成	13.1%	11.4%	5.4%	21.4%	10.1%	6.5%	9.2%	16.3%
東京舗装	13.5%	28.7%	25.0%	18.1%	32.8%	3.5%	17.3%	26.3%
NIPPO	24.4%	30.6%	27.7%	25.9%	25.5%	18.0%	22.7%	32.7%
フジタ	31.3%	28.3%	37.7%	26.1%	31.4%	30.4%	25.1%	43.0%
前田	8.1%	8.5%	8.4%	7.4%	5.7%	5.6%	10.5%	12.6%
三住	22.7%	35.0%	38.8%	37.1%	38.0%	57.0%	47.3%	48.2%
合計	18.0%	20.1%	20.2%	20.9%	19.9%	17.6%	19.6%	26.0%

< 単組別休日取得率推移 >



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
大林	56.0%	45.7%	49.0%	48.1%	48.1%	46.9%	44.7%	49.1%
大成	44.2%	45.3%	44.6%	48.1%	45.0%	40.5%	45.4%	48.9%
東京舗装	29.9%	46.2%	46.3%	36.2%	45.8%	25.3%	31.8%	52.4%
NIPPO	59.6%	60.4%	53.9%	53.5%	58.8%	50.4%	49.4%	65.7%
フジタ	49.1%	41.7%	52.1%	39.7%	48.6%	40.3%	36.6%	54.4%
前田	43.0%	40.8%	48.9%	44.6%	46.7%	49.0%	54.5%	60.7%
三住	44.4%	53.4%	64.3%	63.2%	63.9%	71.0%	81.9%	81.9%
合計	49.5%	47.9%	50.4%	49.1%	51.4%	48.6%	52.7%	59.1%



#### 単組別事業所閉所率(工事)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	事業所数	平均
大林	3.7%	9.3%	3.7%	0.0%	54	4.2%
大成	5.3%	12.3%	5.3%	5.3%	57	7.0%
東鋪	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	11	4.5%
NIPPO	14.6%	37.4%	16.7%	15.7%	198	21.1%
フジタ	20.7%	69.0%	29.3%	20.7%	58	34.9%
前田	1.6%	26.0%	3.3%	2.4%	123	8.3%
三住	37.8%	62.2%	40.5%	59.5%	37	50.0%
全社	11.5%	34.0%	13.8%	13.2%	538	18.1%

#### 地域別事業所閉所率(工事)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	事業所数	平均
北海道	21.1%	26.3%	15.8%	18.4%	38	20.4%
東北	10.8%	47.0%	15.7%	14.5%	83	22.0%
関東	5.7%	25.9%	5.7%	6.3%	158	10.9%
中部	8.3%	21.7%	6.7%	6.7%	60	10.8%
関西	14.6%	33.3%	18.8%	14.6%	48	20.3%
中国	16.4%	50.9%	30.9%	20.0%	55	29.5%
九州	16.1%	35.7%	17.9%	23.2%	56	23.2%
北陸	21.1%	31.6%	15.8%	15.8%	19	21.1%
四国	4.8%	42.9%	9.5%	14.3%	21	17.9%
全国	11.5%	34.0%	13.8%	13.2%	538	18.1%

単組別休日取得率(工事)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	組員数	平均	振替加算	振替取得
大林	31.0%	51.7%	33.7%	35.7%	600	38.0%	39.0%	1.6%
大成	32.0%	45.1%	36.6%	37.5%	435	37.8%	38.4%	1.0%
東鋪	22.2%	62.2%	31.1%	26.7%	45	35.6%	42.2%	10.3%
NIPPO	43.6%	64.6%	46.6%	47.9%	652	50.7%	54.3%	7.3%
フジタ	27.8%	81.7%	34.8%	24.3%	115	42.2%	42.4%	0.4%
前田	36.9%	75.1%	43.1%	38.4%	1013	48.4%	51.2%	5.9%
三住	77.8%	87.7%	75.4%	84.8%	171	81.4%	84.6%	17.3%
全社	38.2%	64.7%	42.4%	41.7%	3,031	46.7%	49.0%	4.4%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した割合

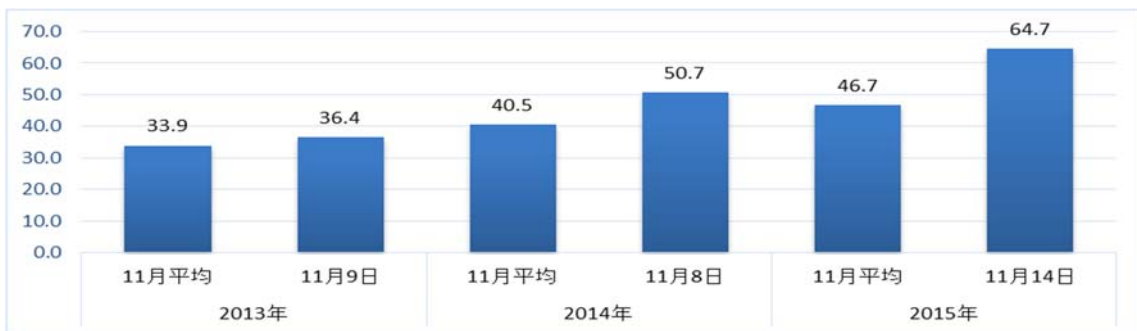
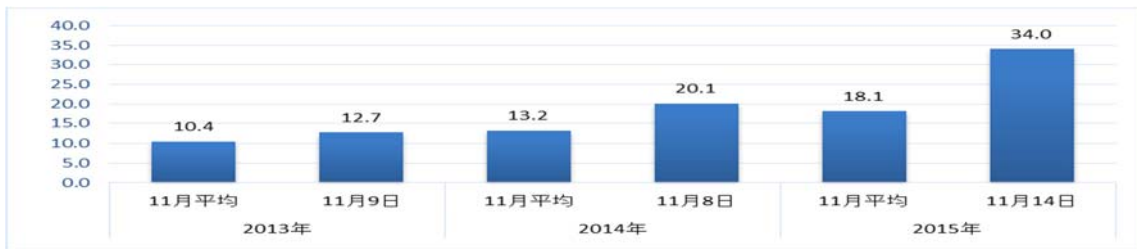
地域別組員休日取得率(工事)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	組員数	平均	振替加算	振替取得
北海道	35.6%	55.0%	42.8%	43.3%	180	35.3%	49.3%	9.2%
東北	31.1%	68.5%	42.1%	38.6%	409	36.0%	47.2%	3.9%
関東	38.3%	65.4%	42.8%	41.1%	1,129	37.5%	49.3%	4.6%
中部	35.0%	53.8%	30.8%	32.1%	377	30.3%	39.7%	2.9%
関西	42.3%	61.6%	43.9%	44.9%	305	38.6%	50.0%	3.5%
中国	41.9%	75.1%	52.8%	47.6%	229	43.5%	55.3%	2.2%
九州	44.4%	64.4%	46.7%	52.4%	225	41.6%	55.6%	7.4%
北陸	44.4%	61.1%	45.6%	48.9%	90	40.0%	50.8%	1.7%
四国	42.5%	90.8%	39.1%	37.9%	87	42.1%	54.3%	3.6%
全国	38.2%	64.7%	42.4%	41.7%	3,031	46.7%	49.0%	4.4%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した率

●<工事部門の閉所率・休日取得率 過去3年間の推移(全体と第2土曜日)>

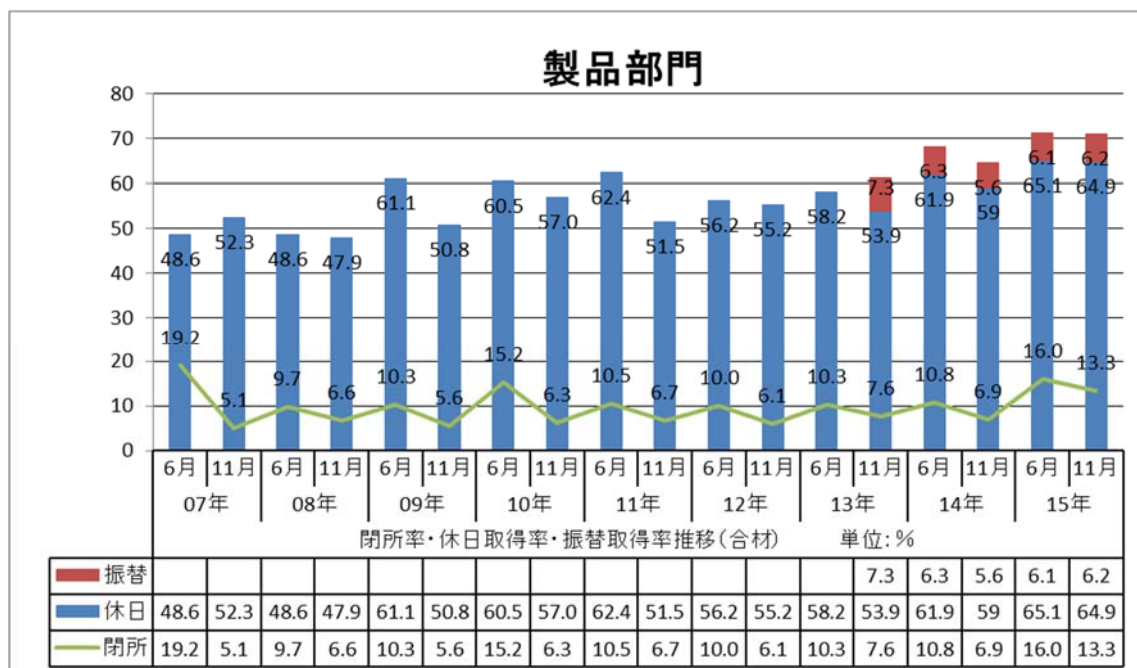
(上:閉所率、下:休日取得率)



工事部門においては、閉所率・休日取得率ともに前回を上回る結果（振替加算については昨年11月より-1.1%の2.3%）となり、休日取得については2年続けて40%超え46.7%となりました。また、NIPPO・フジタ道路の数値が格段に良くなっていることは本当に素晴らしいことで、嬉しい限りです。各社・各単組の工事部門でかなり意識的に取り組んでいただいた結果だと思われます。

一方で今までどおり、顧客の依頼によりどうしても工程を入れなければいけなかった、という声も変わらず残っていました。土曜日にずれ込んでしまうことは、仕方ないと思います。大切なのは事前の準備ですから、土曜日の工程を空けておく、つまり閉所・休工・休日取得にする意思があったかどうかということです。今回の意見欄では「上司の“休む”意思表示」「工程の事前調整を行った」という前向きな言葉が多く見られました。本当に努力していただいている姿が目に見えます。あとは、きっちり取り組んだけれど天候不順等で土曜日に出勤せざるを得なかった場合、いかに振替休日を取得するかが大きな課題といえます。「法律で休みにしないと無理」や「業界全体へアピール強化を行って欲しい」というご意見も多々ありましたが、違った角度から現状を見つめ直し、他の出来ている部署を参考にして、自ら取り組んでみてください。

今回の特徴的な点は、フジタ道路、NIPPOの土曜日閉所率と休日取得率が昨年より高くなっていること、地域別で見ると中国地区、九州地区、北陸地区の閉所率が高くなっていることが挙げられます。数値を見ても一目瞭然ではありますが、三井住建道路以外の低い単組の頑張りが全体の底上げを図っていくと言えます。微増であるとは言え、数値に取り組みの跡が見えるのは、明るい未来を連想させます。





単組別事業所閉所率(合材)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	事業所数	平均
大林	3.0%	36.4%	3.0%	6.1%	33	12.1%
大成	5.4%	37.8%	5.4%	8.1%	37	14.2%
東舗	0.0%	100.0%	25.0%	25.0%	4	37.5%
NIPPO	4.8%	42.7%	4.8%	5.6%	124	14.5%
前田	0.0%	40.6%	0.0%	0.0%	101	10.1%
三住	0.0%	41.7%	8.3%	33.3%	12	20.8%
全社	2.9%	41.5%	3.5%	5.5%	311	13.3%

地域別事業所閉所率(合材)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	事業所数	平均
北海道	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	16	15.6%
東北	2.0%	46.9%	2.0%	4.1%	49	13.8%
関東	0.0%	65.2%	1.5%	1.5%	66	17.0%
中部	0.0%	11.1%	0.0%	2.8%	36	3.5%
関西	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	32	0.0%
中国	2.5%	87.5%	2.5%	2.5%	40	23.8%
九州	7.5%	27.5%	12.5%	15.0%	40	15.6%
北陸	11.8%	29.4%	5.9%	5.9%	17	13.2%
四国	0.0%	26.7%	0.0%	20.0%	15	11.7%
全国	2.9%	41.5%	3.5%	5.5%	311	13.3%

単組別休日取得率(合材)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	組員数	平均	振休加算	振替取得
大林	44.9%	67.7%	42.5%	41.7%	127	49.2%	52.8%	7.0%
大成	50.0%	76.2%	51.2%	57.1%	84	58.6%	61.9%	7.9%
東舗	46.7%	100.0%	60.0%	86.7%	15	73.3%	75.0%	6.3%
NIPPO	60.7%	78.6%	61.4%	63.6%	140	66.1%	69.6%	10.5%
前田	61.7%	85.2%	62.8%	64.3%	454	68.5%	76.7%	25.9%
三住	63.5%	98.1%	61.5%	78.8%	52	75.5%	84.6%	37.3%
全社	57.8%	81.8%	58.4%	61.5%	872	64.9%	71.1%	17.7%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した割合

地域別組員休日取得率(合材)

	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	組員数	平均	振休加算	振替取得
北海道	43.8%	59.4%	53.1%	37.5%	32	38.8%	61.7%	25.8%
東北	55.8%	87.6%	54.9%	59.3%	113	64.4%	71.9%	21.1%
関東	62.0%	90.2%	62.6%	63.6%	305	69.6%	73.0%	11.3%
中部	54.1%	70.5%	55.7%	57.4%	122	59.4%	65.2%	14.1%
関西	55.1%	67.3%	63.3%	66.3%	98	63.0%	6.2%	17.2%
中国	58.6%	94.3%	58.6%	65.7%	70	69.3%	76.4%	23.3%
九州	58.8%	74.1%	58.8%	63.5%	85	63.8%	74.1%	28.5%
北陸	70.0%	80.0%	50.0%	70.0%	20	67.5%	78.8%	34.6%
四国	48.1%	85.2%	29.6%	51.9%	27	53.7%	60.2%	14.0%
全国	57.8%	81.8%	58.4%	61.5%	872	64.9%	71.1%	17.7%

振替率は休めなかった人が振替休日を取得した率

●<製品部門の閉所率・休日取得率 過去3年間の推移（全体と第2土曜日）

（上：閉所率、下：休日取得率）



製品部門は閉所率については 13.3%と前回 11 月を+6.4%上回り、休日取得率については、64.9%と前回 11 月より+5.9%上昇しております。第 2 土曜日だけをフォーカスすると、閉所率・休日取得率ともにアップしています（閉所率：+26.3%、休日取得率：+16.6%）。第 2 土曜日を意識して取り組んでいただいたことが結果から伺えます。

製品部門の閉所率については、日合協が旗を振って取組んだ、“南関東 5 都県の第 2 土曜日・日曜日閉所運動”が一定の効果を出すと予想していましたが、ここまで数値を延ばすとは驚きです。今後はこの波が関東だけでなく中部・関西地区方面に波及し、ここ数年で閉所運動の活性化を推し進め、今回の結果でも高い数値を示している東北・北陸・九州、そしてどこよりも各県の垣根を越えて熱心に閉所を押し進めている中国地区とともに、歩調を合わせて全国一斉の取組みにしていきたいと思えます。残念なのは関西地区の閉所率です。今一度、意識を高く持ち、労使一体で連携しながら、閉所活動の意義と未来を見据えた“今、我々がすべき行動”を考えていただきたいと思えます。

休日取得に目を向けてみますと、日合協の計画的連続休暇の取得促進についての取り組みや関東の閉所活動が追い風となって前回 11 月の結果を若干上回り、さらに第 2 土曜日は東北・関東・中国で大幅に増加しました。

業界一体となって、意図を持った取り組み、その努力の跡が見える結果、これらは今後も継続して取り組んでいただきたいと思えます。一歩ずつ、できる事から進めていけば必ずと未来は切り開けます。諦めず、この意識の高い閉所活動を続けていきましょう。

## ●土曜日閉所出来なかった理由

- ①土曜日指定の工事・出荷があるため。
- ②営業打合せ、作業打合せなど得意先からの要請があるため。
- ③下請け・作業員の作業に立ち会う必要があるため。
- ④天候などの影響により工期が遅れているため。
- ⑤もともと工期に余裕がないため。
- ⑥配置人員が少なく、業務量に追いつかないため。
- ⑦制度上休みではないため。
- ⑧職場に休みにくい雰囲気があるため。
- ⑨年間を通じた交代制などで休日を確保しているため。
- ⑩顧客への提出書類(見積書、工事書類等)作成の内業があるため。
- ⑪社内書類(月次書類等)作成の内業があるため。
- ⑫その他(回答欄記述)

1位
2位
3位

## ●2015年11月

理由	11月7日				11月14日				11月21日				11月28日			
	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他
①	36.8%	22.9%	67.9%	16.3%	31.9%	20.4%	62.7%	16.7%	33.9%	19.8%	63.8%	18.6%	34.5%	19.1%	68.2%	19.5%
②	7.1%	7.5%	6.4%	6.1%	6.9%	7.1%	5.9%	9.5%	7.9%	9.1%	5.9%	4.7%	7.1%	7.6%	6.2%	7.3%
③	15.0%	21.4%	3.0%	8.2%	14.5%	19.8%	2.9%	9.5%	13.6%	19.4%	3.4%	4.7%	14.3%	20.1%	2.6%	12.2%
④	6.7%	9.2%	2.1%	4.1%	7.7%	10.0%	2.9%	4.8%	7.8%	10.9%	2.5%	2.3%	8.9%	12.2%	2.3%	7.3%
⑤	10.5%	15.5%	0.6%	8.2%	13.6%	19.8%	0.0%	7.1%	11.0%	17.0%	0.0%	4.7%	11.3%	16.9%	0.6%	4.9%
⑥	7.2%	9.3%	1.8%	14.3%	7.5%	10.0%	1.5%	7.1%	8.5%	11.5%	1.6%	16.3%	7.2%	9.8%	1.6%	9.8%
⑦	2.1%	0.5%	5.8%	0.0%	1.6%	0.4%	4.9%	0.0%	3.7%	1.4%	8.4%	2.3%	1.8%	0.5%	4.9%	0.0%
⑧	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%
⑨	3.3%	1.4%	7.3%	2.0%	3.7%	1.4%	9.3%	2.4%	3.8%	1.9%	7.8%	2.3%	3.6%	1.7%	7.5%	2.4%
⑩	4.9%	6.6%	0.9%	8.2%	5.3%	6.3%	0.0%	19.0%	6.2%	6.8%	2.8%	23.3%	6.3%	7.6%	2.6%	14.6%
⑪	5.2%	4.7%	2.7%	28.6%	2.7%	2.4%	2.0%	9.5%	2.5%	1.6%	2.2%	18.6%	3.4%	3.3%	1.9%	14.6%
⑫	1.2%	0.8%	1.5%	4.1%	4.1%	1.6%	7.8%	14.3%	0.8%	0.3%	1.6%	2.3%	1.3%	0.8%	1.6%	7.3%

## ●2014年11月

理由	11月1日				11月8日				11月15日				11月22日				11月29日			
	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他
①	37.5%	23.6%	73.2%	17.9%	34.1%	20.5%	66.7%	27.1%	33.5%	19.1%	70.2%	22.0%	33.5%	19.2%	68.9%	23.3%	33.4%	19.1%	69.2%	21.3%
②	7.9%	9.2%	3.3%	16.1%	8.8%	10.0%	5.3%	12.5%	8.7%	10.1%	4.2%	14.0%	8.4%	9.9%	3.9%	14.0%	7.4%	8.5%	5.0%	6.4%
③	12.5%	17.7%	1.8%	7.1%	13.4%	18.6%	2.9%	6.3%	14.0%	19.8%	1.5%	6.0%	12.6%	17.6%	2.4%	4.7%	12.5%	17.8%	1.2%	6.4%
④	5.6%	7.2%	2.6%	1.8%	6.9%	8.4%	4.5%	2.1%	7.2%	8.9%	4.6%	0.0%	6.3%	8.0%	2.8%	2.3%	7.2%	9.2%	3.8%	0.0%
⑤	10.6%	15.4%	1.1%	3.6%	11.6%	16.8%	1.6%	2.1%	11.7%	16.1%	1.9%	6.0%	12.6%	17.7%	2.0%	4.7%	12.5%	17.5%	1.9%	6.4%
⑥	8.1%	10.3%	2.9%	8.9%	9.4%	11.4%	4.1%	12.5%	10.2%	12.8%	3.4%	12.0%	10.5%	13.0%	3.9%	14.0%	9.5%	11.9%	3.1%	12.8%
⑦	2.1%	1.4%	3.3%	3.6%	1.3%	0.9%	2.1%	2.1%	1.2%	0.6%	2.3%	2.0%	2.0%	1.5%	3.1%	2.3%	1.3%	0.7%	2.7%	2.1%
⑧	0.3%	0.3%	0.4%	0.0%	0.5%	0.4%	0.8%	0.0%	0.4%	0.3%	0.8%	0.0%	0.3%	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.3%	0.8%	0.0%
⑨	2.4%	1.0%	6.3%	0.0%	2.9%	1.3%	7.4%	0.0%	2.6%	0.5%	8.4%	0.0%	2.7%	0.5%	8.3%	0.0%	2.3%	0.5%	6.9%	0.0%
⑩	5.9%	7.9%	0.0%	12.5%	6.3%	8.2%	0.4%	14.6%	6.1%	7.9%	1.1%	10.0%	7.0%	8.9%	1.6%	14.0%	7.5%	9.7%	0.8%	17.0%
⑪	5.7%	4.8%	3.7%	25.0%	3.2%	2.7%	2.5%	12.5%	2.6%	2.7%	0.0%	16.0%	2.3%	2.3%	0.8%	11.6%	4.1%	3.8%	3.1%	14.9%
⑫	1.4%	1.1%	1.5%	3.6%	1.5%	0.9%	1.6%	8.3%	1.8%	1.1%	1.5%	12.0%	1.7%	1.0%	2.0%	9.3%	1.7%	1.0%	1.5%	12.8%

## ●2013年11月

理由	11月2日				11月9日				11月16日				11月23日				11月30日			
	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他
①	30.9%	16.9%	61.8%	29.1%	30.9%	16.9%	64.3%	25.0%	30.5%	17.4%	62.0%	19.7%	31.5%	17.9%	64.9%	20.3%	31.4%	18.2%	62.5%	22.8%
②	8.0%	8.7%	7.1%	3.6%	7.8%	8.5%	6.3%	6.7%	7.8%	8.0%	7.3%	7.6%	7.6%	7.3%	7.6%	10.9%	7.5%	7.8%	7.0%	7.0%
③	12.5%	17.0%	3.2%	9.1%	13.4%	17.6%	4.9%	8.3%	13.6%	18.5%	3.3%	12.1%	13.3%	17.7%	3.8%	10.9%	12.5%	17.0%	3.3%	8.8%
④	4.8%	6.2%	2.3%	1.8%	5.6%	7.0%	3.5%	0.0%	5.5%	7.0%	3.0%	1.5%	5.6%	7.3%	2.1%	3.1%	5.5%	7.5%	2.0%	1.8%
⑤	12.7%	18.0%	1.6%	9.1%	13.6%	19.0%	2.1%	10.0%	13.2%	18.6%	2.3%	7.6%	13.0%	18.3%	2.4%	6.3%	13.1%	18.2%	2.3%	10.5%
⑥	12.8%	16.4%	4.9%	12.7%	13.3%	17.2%	4.9%	11.7%	13.9%	18.3%	4.3%	13.6%	14.4%	18.6%	5.6%	10.9%	13.0%	16.9%	5.0%	10.5%
⑦	4.9%	3.6%	7.8%	5.5%	1.5%	0.9%	2.4%	3.3%	2.3%	1.0%	4.6%	4.5%	1.7%	0.9%	2.8%	4.7%	1.9%	0.9%	4.0%	3.5%
⑧	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	1.8%
⑨	2.2%	0.7%	5.5%	1.8%	2.5%	1.1%	5.9%	1.7%	2.6%	0.9%	6.6%	1.5%	2.2%	0.8%	5.6%	1.6%	2.2%	0.7%	5.6%	1.8%
⑩	4.8%	5.8%	1.9%	9.1%	6.1%	7.6%	2.1%	8.3%	6.1%	2.6%	9.1%	6.4%	7.6%	2.1%	12.5%	6.4%	8.1%	2.3%	8.8%	
⑪	5.2%	5.6%	2.3%	16.4%	3.5%	3.2%	1.4%	16.7%	3.2%	3.0%	1.7%	12.1%	2.8%	2.6%	1.0%	12.5%	4.3%	3.6%	3.7%	15.8%
⑫	1.2%	0.9%	1.6%	1.8%	1.7%	0.9%	2.1%	8.3%	2.0%	1.0%	2.3%	10.6%	1.5%	0.8%	2.1%	6.3%	1.8%	1.0%	2.3%	7.0%

●休日取得や時短を進めるために今後望まれる点

- ①適正な人員配置
- ②社外書類の削減
- ③社内書類の削減
- ④上位者からの指示・指導
- ⑤職場の話し合い
- ⑥協力会社の育成
- ⑦業界全体による得意先に対する土曜休工の要請

	2015年11月				2014年11月				2013年11月			
	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他	全体	工事	合材	支店他
①	25.9%	25.7%	22.7%	32.4%	24.9%	24.8%	21.1%	32.0%	28.6%	29.8%	23.1%	33.1%
②	5.8%	7.3%	3.8%	3.0%	6.0%	7.1%	4.0%	4.5%	6.1%	7.9%	2.3%	4.9%
③	11.0%	12.4%	7.5%	11.7%	10.8%	11.8%	5.6%	15.4%	8.3%	8.7%	6.7%	9.4%
④	9.2%	8.8%	6.2%	16.1%	8.4%	7.8%	7.8%	12.1%	8.1%	7.8%	6.5%	12.0%
⑤	7.2%	6.4%	7.5%	9.7%	7.6%	8.2%	6.7%	6.5%	7.3%	6.8%	8.2%	7.9%
⑥	8.0%	9.7%	7.0%	3.0%	8.5%	10.5%	6.7%	2.4%	8.9%	10.5%	6.9%	5.3%
⑦	32.9%	29.5%	45.2%	24.1%	33.9%	29.8%	48.2%	27.1%	32.7%	28.4%	46.2%	27.4%

閉所出来なかった理由としては、昨年から大きな変動なく、工事部門と製品部門がそれぞれ「土曜日指定の工事・出荷があるため」を一番に挙げています。

工事部門では、「土曜日指定の工事」「下請け・作業員の作業に立ち会う必要がある」「もともと工期に余裕が無い」という三つの理由が全ての土曜日で上位を占めています。天候の影響による工期の遅れ以外に、最初から工期に余裕がなかった、工程の都合で結果として工期がなくなってしまった等、色々な事情があると思います。大切なことは事前の準備であり、計画的に取り組んでもらうことです。突発的な仕事や工期のない仕事は仕方ないと思いますが、振替休日を取れるような取り組みを続けて欲しいと思います。

製品部門においても昨年と変わらず、「土曜日指定の出荷があるため」土曜日は閉所出来ない、という理由が大半を占めております。前述でお話ししましたが、中国地区における県の垣根を越えた閉所運動や南関東 5 都県の閉所活動が素晴らしい結果を示しました。この結果が全国に波及していき、数値の低い中部地区・関西地区で活性化できるように、我々道建労協も積極的に広報を行っていきます。組合員の皆様には引き続きご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後に、皆さんにお願いしたいのは、自らの意思で閉所や休日取得に対して取り組んでほしいということです。“自分を変える、自分達で変える”この思いをもって、今だからこそできる積極的な土曜閉所活動を続けていただきたいと思います。そして、次世代の若者にそのバトンを引き継ぎ、将来の明るい舗装業界を構築していきたいと考えます。その結果が、働き方の見直し、ひいては確実に土曜が休める環境整備に繋がるはずで、今からできる取り組みを一緒にすすめていきましょう！